

## 令和7年度 群馬県多面的機能の発揮の促進に関する第三者委員会 開催結果

事務局：群馬県 農政部 農政課・農村整備課

1 日時 令和8年2月9日（月） 10時00分から11時45分まで

2 場所 群馬県庁29階 292会議室

3 出席者 委員5名、事務局9名

### 4 議題

- (1) 日本型直接支払制度について
- (2) 多面的機能支払交付金の取組状況について
- (3) 中山間地域等直接支払交付金の取組状況について
- (4) 環境保全型農業直接支払交付金の取組状況について
- (5) 群馬県中山間地域ふるさと農村活性化基金の取組状況及び次期計画について
- (6) 第三者委員による全体的な評価、助言・指導、意見交換等

### 5 委員の主な意見

・多面的機能支払交付金について、草刈り等の活動は高齢化により参加人数が減っている。新規運用開始予定のマッチングサイトにより、幅広く参加者を募れることは、非常に有効な手段だと感じた。学生や企業側では参加者の調整が必要なため「草刈りはこの時期」「イベントはこの日」などと具体的に提示することが重要である。FMシティ前橋、ラジオ高崎で制度周知を図っているとのことだが、他のラジオ局へも拡大していくとさらなる周知に繋がる。

・中山間地域等直接支払について、制度開始から長年に渡り単価が変わっていないが、物価高騰を踏まえて単価を上げるなど、補正する必要があると感じる。具体的な取組目標があると事業の変遷が分かりやすいと感じた。

・環境保全型農業直接支払交付金については、環境負荷低減に資する農業活動に対する支援であるが、有機農業を推進していくうえで「売り先」の拡大が重要である。一般的な家庭では野菜を買う際、安い方がよいという認識がまだあるように感じる。付加価値が付けられると有機農業を進めていく農家にとって原動力になるのではないか。また海外では学校給食での活用も進んでおり、取り組みやすいものから徐々に普及させていくとよいと感じた。

・人口減少・高齢化の中で、いかに農地や集落を維持していくかが課題である。特に新しいマッチングサイトである「TAME まっち」や「やま・さと応援隊」は若者を巻き込むことが可能であり、期待をしている。単に制度を利用するだけでなく、将来の担い手や関係人口

につながるよう、積極的な運用をお願いしたい。

・沼田市の石墨棚田の活動に参加していると、都内や県外からも毎年多くの方が参加し、活動を楽しんでいる様子が見える。このように貴重な活動が継続できるよう、各事業について支援をお願いしたい。

・様々な農業の構造改革が行われる中、持続的な農業生産を確保していくために、制度をどう維持していくかが重要と考える。特に群馬県は中山間地域等の条件不利地域も多く、こういった地域の多面的機能を維持していくためにも各事業を活用できるよう、推進をお願いしたい。